

表1 事故件数の年度別推移

平成28年度
(件)

製品区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
01.家庭用電気製品	2,380	2,266	2,011	2,305	2,307	1,381	1,424	1,232	1,517	1,302
	(40.1%)	(49.9%)	(53.1%)	(55.2%)	(59.1%)	(45.6%)	(39.9%)	(51.9%)	(62.8%)	(59.3%)
02.台所・食卓用品	116	137	158	79	79	177	88	75	19	16
	(2.0%)	(3.0%)	(4.2%)	(1.9%)	(2.0%)	(5.8%)	(2.5%)	(3.2%)	(0.8%)	(0.7%)
03.燃焼器具	1,385	936	696	686	705	597	783	623	467	449
	(23.3%)	(20.6%)	(18.4%)	(16.4%)	(18.1%)	(19.7%)	(21.9%)	(26.2%)	(19.3%)	(20.5%)
04.家具・住宅用品	279	328	213	396	304	241	224	133	107	149
	(4.7%)	(7.2%)	(5.6%)	(9.5%)	(7.8%)	(8.0%)	(6.3%)	(5.6%)	(4.4%)	(6.8%)
05.乗物・乗物用品	152	168	164	241	168	99	110	89	73	50
	(2.6%)	(3.7%)	(4.3%)	(5.8%)	(4.3%)	(3.3%)	(3.1%)	(3.7%)	(3.0%)	(2.3%)
06.身のまわり品	1,252	418	232	201	198	414	183	131	77	71
	(21.1%)	(9.2%)	(6.1%)	(4.8%)	(5.1%)	(13.7%)	(5.1%)	(5.5%)	(3.2%)	(3.2%)
07.保健衛生用品	119	28	120	59	21	23	20	20	8	9
	(2.0%)	(0.6%)	(3.2%)	(1.4%)	(0.5%)	(0.8%)	(0.6%)	(0.8%)	(0.3%)	(0.4%)
08.レジャー用品	109	103	80	87	73	56	51	47	49	25
	(1.8%)	(2.3%)	(2.1%)	(2.1%)	(1.9%)	(1.9%)	(1.4%)	(2.0%)	(2.0%)	(1.1%)
09.乳幼児用品	128	130	81	90	21	14	673	15	10	13
	(2.2%)	(2.9%)	(2.1%)	(2.2%)	(0.5%)	(0.5%)	(18.8%)	(0.6%)	(0.4%)	(0.6%)
10.繊維製品	13	29	35	29	25	25	15	10	88	111
	(0.2%)	(0.6%)	(0.9%)	(0.7%)	(0.6%)	(0.8%)	(0.4%)	(0.4%)	(3.6%)	(5.1%)
11.その他	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
合計	5,935	4,543	3,790	4,173	3,901	3,027	3,572	2,376	2,415	2,195
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)

(注) 括弧内の数字は、各年度の通知件数に占める製品区分毎の割合を百分率で表したものの

図1 事故件数の年度別推移

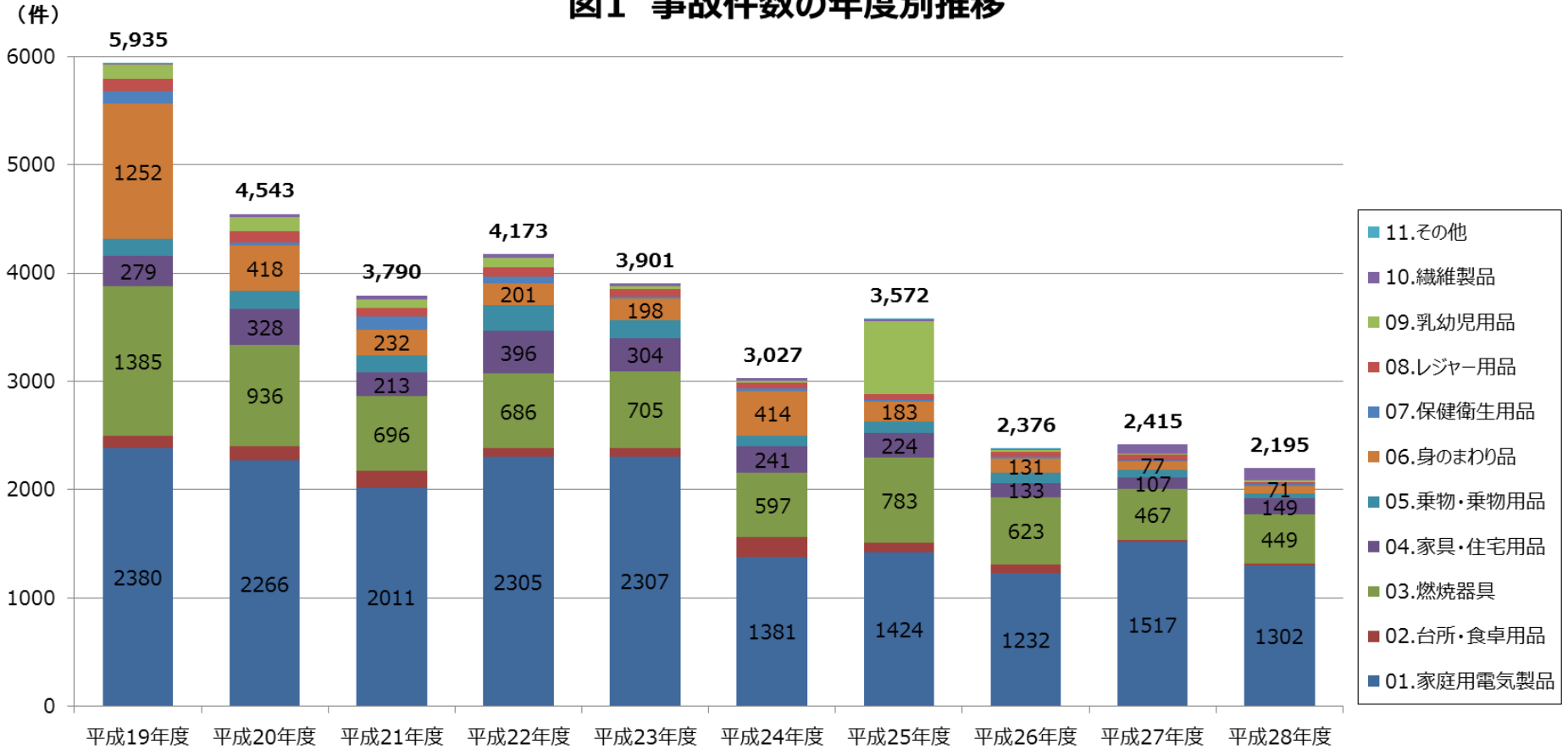


表2 製品区分別被害状況

平成28年度
(件)

製品区分	被害状況			人的被害が発生した事故									物的被害が発生した事故						被害なし		
	合計			死亡			重傷			軽傷			拡大被害			製品破損					
01.家庭用電気製品	1,302	1,517	1,232	18	15	13	24	22	26	71	56	165	503	447	451	677	969	566	9	8	11
02.台所・食卓用品	16	19	75	0	0	0	3	7	10	7	4	15	1	1	0	4	3	46	1	4	4
03.燃焼器具	449	467	623	14	21	13	8	4	8	49	51	56	135	143	192	232	243	346	11	5	8
04.家具・住宅用品	149	107	133	3	5	10	30	48	52	52	38	50	5	2	6	57	14	15	2	0	0
05.乗物・乗物用品	50	73	89	1	1	1	18	33	40	17	30	35	7	2	0	6	7	12	1	0	1
06.身のまわり品	71	77	131	1	2	0	8	8	18	23	20	50	27	29	30	12	18	25	0	0	8
07.保健衛生用品	9	8	20	0	0	0	1	4	4	8	2	11	0	2	0	0	0	5	0	0	0
08.レジャー用品	25	49	47	0	0	1	4	10	10	14	29	14	2	0	2	5	10	17	0	0	3
09.乳幼児用品	13	10	15	0	0	2	4	4	2	4	6	4	0	0	0	2	0	4	3	0	3
10.繊維製品	111	88	10	0	0	0	3	6	0	90	82	10	0	0	0	17	0	0	1	0	0
11.その他	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,195	2,415	2,376	37	44	40	103	146	170	335	318	410	680	626	681	1,012	1,264	1,036	28	17	38

(注)

- 被害状況については、製品の問題の有無を問わずに見た件数である。
- 重傷とは、全治1カ月以上のけがを言う。
- 拡大被害は、製品以外に他の物的被害に及んだものを言う。
- 各欄内の数値は（平成28年度、平成27年度（青）、平成26年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の被害状況を集計したものである。

表3 製品区分別事故原因

平成28年度
(件)

事故原因 製品区分	調査が終了したもの													調査が終了したもの 小計	H : 調査中のもの	合計																							
	重大製品事故	製品に起因する事故								製品に起因しない事故							原因不明																						
		A : 専ら設計上、 製造上又は表示に問 題があったと考えられる もの	B : 製品自体に問 題があり、使い方も事 故発生に影響したと考 えられるもの	C : 製造後長期間 経過したり、長期間の 使用により性能が劣化 したと考えられるもの	G3 : 製品起因で あるが、その原因が不 明のもの	D : 業者による工 事、修理、又は輸送中 の取扱い等に問題が あったと考えられるもの	E : 専ら誤使用や 不注意な使い方と考 えられるもの	F : その他製品に起 因しないと考えられるも の	G1、G2 : 原因 不明、調査不能のもの																														
01.家庭用電気製品	164	291	332	445	722	416	1	56	8	8	13	8	31	51	82	2	27	18	28	93	132	40	72	94	76	107	139	795	1,432	1,229	538	90	3	1,333	1,522	1,232			
02.台所・食卓用品	1	3	6	2	6	49	1	0	1	0	0	0	0	2	3	0	0	0	1	2	3	0	2	3	2	2	10	7	17	75	163	28	0	170	45	75			
03.燃焼器具	33	101	73	4	7	21	1	0	0	13	18	15	7	8	13	6	10	16	64	98	166	26	72	86	107	140	233	261	454	623	7	5	0	268	459	623			
04.家具・住宅用品	5	14	27	9	21	16	1	2	3	0	0	0	1	1	5	2	2	9	9	22	32	0	16	16	75	14	25	102	92	133	64	6	0	166	98	133			
05.乗物・乗物用品	6	17	23	6	5	7	0	4	4	0	0	0	1	6	3	0	5	2	1	1	7	1	10	13	8	14	30	23	62	89	20	5	0	43	67	89			
06.身のまわり品	9	17	19	14	21	55	1	2	2	0	1	1	3	9	8	0	0	0	2	2	10	3	12	15	13	9	21	45	73	131	8	1	0	53	74	131			
07.保健衛生用品	0	0	2	0	0	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	7	1	3	5	5	5	20	13	0	0	18	5	20			
08.レジャー用品	2	9	10	8	21	20	1	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	2	2	0	3	3	2	10	10	16	47	47	3	1	0	19	48	47			
09.乳幼児用品	1	3	1	2	3	5	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	0	0	2	1	0	2	6	10	15	5	0	0	11	10	15			
10.繊維製品	1	2		106	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	8	0	1	2	107	85	10	4	2	0	111	87	10			
11.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0	1
合計	222	457	493	596	886	594	7	64	25	21	32	24	43	79	114	10	44	46	111	226	353	72	189	247	285	300	477	1,367	2,277	2,373	828	138	3	2,195	2,415	2,376			

(注)

- 各欄内の数値は（平成28年度、平成27年度（青）、平成26年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の事故原因を集計したものである。
- 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表4 事故原因区分別被害状況

平成28年度
(件)

製品区分	被害状況 合計	人的被害が発生した事故			物的被害が発生した事故		被害なし
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品破損	
重大製品事故	222 457 493	1 9 8	14 57 85	5 20 26	107 216 251	95 155 123	0 0 0
A : 専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの	596 886 594	0 0 1	0 0 1	119 129 158	0 48 42	428 704 377	2 5 15
B : 製品自体に問題があり、使用方も事故発生に影響したと考えられるもの	7 64 25	0 0 0	0 0 0	4 9 14	47 2 2	1 52 6	0 1 3
C : 製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの	21 32 24	0 0 0	0 0 0	1 1 1	1 6 2	14 24 21	0 1 0
G3 : 製品起因であるが、その原因が不明のもの	43 79 114	0 0 0	0 0 0	4 8 7	6 20 23	24 51 83	0 0 1
D : 業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの	10 44 46	0 0 0	0 4 5	3 7 5	15 15 19	4 18 17	0 0 0
E : 専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの	111 226 353	1 8 10	1 20 25	33 43 68	3 96 150	33 54 95	3 5 5
F : その他製品に起因しないと考えられるもの	72 189 247	1 13 15	0 33 50	10 26 35	38 83 104	18 34 40	0 0 3
G1、G2 : 原因不明、調査不能のもの	285 300 477	3 9 5	2 2 3	57 62 96	41 72 88	148 152 274	5 3 11
調査が終了したもの 小計	1,367 2,277 2,373	6 39 39	17 116 169	236 305 410	258 558 681	765 1,244 1,036	10 15 38
H : 調査中のもの	828 138 3	27 5 1	85 30 1	99 13 0	352 68 1	247 21 0	18 1 0
合計	2,195 2,415 2,376	33 44 40	102 146 170	335 318 410	610 626 682	1,012 1,265 1,036	28 16 38

(注)

- 各欄内の数値は（平成28年度、平成27年度（青）、平成26年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき事故原因区分別の被害状況を集計したものである。
- 重大製品事故とは、経済産業省及び消費者庁に報告された重大製品事故情報のうち、経済産業省及び消費者庁が製品に起因する事故及び原因不明であると判断したものである。

表5 製品区分別再発防止措置等の実施状況

平成28年度
(件)

(製品に起因する非重大製品事故)

製品区分	再発防止措置の実施状況			製品の交換、部品の交換、安全点検等を行ったもの	製品の製造、販売又は輸入を中止したもの	製品の改良、製造工程の改善、品質管理の強化等を行ったもの	表示の改善、取扱説明書の見直し等を行ったもの	政府、団体、事業者等の広報等により消費者に注意を喚起したもの	被害者への措置、損害賠償、製品交換等、個別的な措置												
	措置実施件数																				
01.家庭用電気製品	422	692	400	341	498	235	16	16	101	93	212	259	6	11	80	391	630	247	362	581	313
02.台所・食卓用品	3	8	48	0	5	43	1	3	43	1	5	44	1	5	4	1	3	44	0	1	45
03.燃焼器具	10	15	30	3	7	18	0	0	0	1	3	13	1	0	0	6	8	25	7	11	18
04.家具・住宅用品	9	24	21	8	9	17	2	9	22	2	16	11	0	2	2	3	10	11	5	10	15
05.乗物・乗物用品	7	13	9	6	4	9	1	2	3	3	15	5	0	4	2	4	2	1	3	2	1
06.身のまわり品	17	28	61	6	20	50	3	5	27	21	28	14	7	5	2	4	16	46	7	15	54
07.保健衛生用品	0	0	6	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	0	0	0	6
08.レジャー用品	9	23	21	1	14	15	2	8	6	7	27	22	4	4	1	1	10	9	7	18	18
09.乳幼児用品	2	3	8	2	3	1	0	0	0	1	1	6	0	4	2	2	1	2	2	1	6
10.繊維製品	106	80	0	106	79	0	31	79	0	31	0	0	0	1	0	106	79	0	105	80	0
11.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	585	886	604	473	639	388	56	122	207	160	307	379	19	36	99	518	759	385	498	719	476

(注)

1. 収集された事故に関して複数の措置が取られたものは、措置ごとに集計した。
2. 各欄内の数値は（平成28年度、平成27年度（青）、平成26年度（緑））に収集した事故情報の調査結果に基づき製品区分別の再発防止措置等の実施状況を集計したものである。
3. 措置実施件数には、個別措置のみのものを除く。